



システム管理コマンド

この章は、次の項で構成されています。

- [disable ports leds](#) (2 ページ)
- [hostname](#) (3 ページ)
- [reload](#) (4 ページ)
- [resume](#) (6 ページ)
- [service cpu-utilization](#) (7 ページ)
- [show cpld version](#) (8 ページ)
- [show cpu input rate](#) (9 ページ)
- [show cpu utilization](#) (10 ページ)
- [show environment](#) (11 ページ)
- [show inventory](#) (13 ページ)
- [show reload](#) (15 ページ)
- [show sessions](#) (16 ページ)
- [system light](#) (18 ページ)
- システム リカバリ (19 ページ)

disable ports leds

デバイス上のすべてのポートのLEDをオフにするには、**disable ports leds** グローバル コンフィギュレーション モード コマンドを使用します。

デバイス上にあるすべてのポートのLEDをポートの現在の動作状態に設定するには、**no disable ports leds** コマンドを使用します。

構文

disable ports leds

no disable ports leds

パラメータ

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト設定

デフォルトは **no disable port leds** です。つまり、すべてのポート LED はそれぞれの現在の状態を反映しています。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

例

次の例では、ポート LED をオフにしています。

```
switchxxxxxx(config)# disable ports leds
```

hostname

デバイスのホスト名を指定または変更するには、**hostname** グローバル コンフィギュレーションモード コマンドを使用します。既存のホスト名を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

構文

hostname *name*

no hostname

パラメータ

Name : デバイスのホスト名を指定します。(長さ: 1~58文字)。ホスト名は文字で始まり、文字または数字で終わり、その間には文字、数字、またはハイフンしか使用できません。

デフォルト設定

ホスト名は定義されていません。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

例

次の例では、デバイスのホスト名を「enterprise」として指定しています。

```
switchxxxxxxx(config)# hostname enterprise  
enterprise(config)#
```

reload

ユーザ指定の時間にオペレーティング システムをリロードするには、**reload** 特権 EXEC モード コマンドを使用します。

構文

```
reload [in [hhh:mm | mmm] | at hh:mm [day month]] | cancel]
```

パラメータ

- **in** hhh:mm | mmm : (任意) 指定した分数、または時間および分数が経過したときにソフトウェアがリロードされるようにスケジューリングします。リロードは、約 24 日以内に実行する必要があります。
- **at** hh:mm : (任意) ソフトウェアのリロードが (24 時間制で) 指定された時刻に行われるようにスケジューリングします。月日を指定すると、指定された日時にリロードが行われるようにスケジュールが設定されます。月日を指定しなかった場合、リロードは当日の指定時刻に行われます (指定時刻が現時刻より後の場合)。または翌日の指定時刻に行われます (指定時刻が現時刻よりも前の場合)。00:00 を指定すると、深夜 0 時のリロードが設定されます。リロードは、24 日以内に実行される必要があります。
- **day** : (任意) 1 ~ 31 の範囲で日付を指定します。
- **month** : (任意) 月。
- **cancel** : (任意) スケジューリングされているリロードをキャンセルします。

デフォルトの使用

なし

コマンドモード

特権 EXEC モード

User Guidelines

at キーワードは、システム クロックがデバイスに設定されている場合にのみ使用できます。いくつかのデバイスで同時にリロードが発生するようにスケジューリングするには、各デバイスで時間を SNTP と同期します。

at キーワードを使用してリロード時刻を指定するときに月日を指定した場合は、指定された日時にリロードが実行されます。月日が指定されていない場合は、リロードが (指定された時間が現在の時間よりも遅い場合は) 現在の日の指定された時間、または (指定された時間が現在の時間よりも早い場合は) 翌日の指定された時間に行われます。00:00 を指定すると、深夜 0 時のリロードが設定されます。リロードは、24 日以内に実行される必要があります。

スケジューリングされたリロードの情報を表示するには、**show reload** コマンドを使用します。

例 1 : 次に、スタックシステムのすべてのユニット、またはスタンドアロンシステムの単一ユニットでオペレーティングシステムをリロードする例を示します。

```
switchxxxxxx> reload
This command will reset the whole system and disconnect your current session. Do you
want to continue? (y/n) [Y]
```

例 2 : 次に、スタックシステムのすべてのユニット、またはスタンドアロンシステムの単一ユニットで10分後にオペレーティングシステムをリロードする例を示します。

```
switchxxxxxx> reload in 10
This command will reset the whole system and disconnect your current session. Reload is
scheduled for 11:57:08 UTC Fri Apr 21 2012 (in 10 minutes). Do you want to continue?
(y/n) [Y]
```

例 3 : 次に、スタックシステムのすべてのユニット、またはスタンドアロンシステムの単一ユニットで13:00にオペレーティングシステムをリロードする例を示します。

```
switchxxxxxx> reload at 13:00
This command will reset the whole system and disconnect your current session. Reload is
scheduled for 13:00:00 UTC Fri Apr 21 2012 (in 1 hour and 3 minutes). Do you want to
continue? (y/n) [Y]
```

例 4 : 次の例では、リロードをキャンセルしています。

```
switchxxxxxx> reload cancel
Reload cancelled.
```

resume

別のオープンしている Telnet セッションへの切り替えを有効にするには、**resume** EXEC モード コマンドを使用します。

構文

resume [*connection*]

パラメータ

connection : (任意) 接続番号を指定します。(範囲 : 1 ~ 4 接続。)

デフォルト設定

デフォルトの接続番号は、最新接続の番号です。

コマンドモード

特権 EXEC モード

例

次のコマンドは、オープンしている Telnet セッション番号 1 に切り替えます。

```
switchxxxxxx> resume 1
```

service cpu-utilization

CPU使用率の測定を有効にするには、**service cpu-utilization** グローバルコンフィギュレーションモードコマンドを使用します。デフォルト設定に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

構文

service cpu-utilization

no service cpu-utilization

パラメータ

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト設定

CPU 使用率の測定は有効になっています。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

使用上のガイドライン

CPU 使用率の情報を測定するには、**service cpu utilization** コマンドを使用します。

例

次の例では、CPU 使用率の測定を有効にしています。

```
switchxxxxxx(config)# service cpu-utilization
```

show cpld version

デバイス CPLD コードのバージョンを表示するには、**show cpld version** ユーザ EXEC モードコマンドを使用します。

構文

show cpld version [*unit unit-id*]

パラメータ

unit [*unit-id*] : ユニット番号を指定します (範囲 : 1 ~ 4)。指定しない場合、このコマンドはスタック内のすべてのユニットの CPLD コードのバージョンを表示します。

コマンドモード

ユーザ EXEC モード

例 1 : 次に、スタック内のすべてのユニットの CPLD バージョンを表示する例を示します。

```
switchxxxxxxx> show cpld version
Unit ID      Unit Type      CPLD code Version
-----
1             CBS350-48P-4X      1.0.1
2             CBS350-48P-4X      1.0.2
```

例 2 : 次に、スタック内のユニットに CPLD がない CPLD バージョンを表示する例を示します。

```
switchxxxxxxx> show cpld version
Unit ID      Unit Type      CPLD code Version
-----
1             CBS350-48P-4X      Not Supported
2             CBS350-48P-4X      1.0.2
```


show cpu input rate

CPU への入力フレームのレートをパケット/秒 (pps) で表示するには、**show cpu input rate** ユーザ EXEC モードコマンドを使用します。

構文

show cpu input rate

パラメータ

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドモード

ユーザ EXEC モード

例

次に、CPU 入力レート情報を表示する例を示します。

```
switchxxxxxx> show cpu input rate  
Input Rate to CPU is 1030 pps.
```

show cpu utilization

CPU 使用率に関する情報を表示するには、**show cpu utilization** 特権 EXEC モード コマンドを使用します。

構文

show cpu utilization

パラメータ

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルトの使用

なし

コマンドモード

特権 EXEC モード

使用上のガイドライン

show cpu-utilization コマンドは、CPU 使用率の測定を有効にする場合に使用します。

例

次に、CPU 使用率情報を表示する例を示します。

```
switchxxxxxxx> show cpu utilization
CPU utilization service is on.
CPU utilization
-----
five seconds: 5%; one minute: 3%; five minutes: 3%
```

show environment

環境情報を表示するには、**show environment** ユーザ EXEC モードコマンドを使用します。

構文

```
show environment {all | fan | temperature {status} | stack [switch-number]}
```

パラメータ

- **all** : ファンと温度の一般的なステータスを表示します。このパラメータを使用した場合は、スタックユニットのいずれかに障害が発生している場合は、その障害状況を報告します。
- **fan** : ファンのステータスを表示します。
- **temperature {status}** : 温度ステータスを表示します。
- **stack [switch-number]** : (任意) スタックの環境ステータスの詳細をスタックユニットごとに表示します。switch-numberが指定されている場合は、選択したデバイス番号の電話番号の環境ステータスが表示されます。(範囲: 1 ~ 4)

コマンドモード

ユーザ EXEC モード

使用上のガイドライン

fan status パラメータと **temperature status** パラメータは、ファンセンサーや温度センサーが設置されているデバイスでのみ使用できます。

ファン ステータスは、次のいずれかになります。

- **OK** : ファンは正しく機能しています。
- **Failure** : 1つ以上のファンに障害が発生しています。
- **Fan read fail** : 1つ以上のファンからの情報の読み取りに失敗しました。
- **NA** : ファンは設置されていません。

温度は、次のいずれかになります。

- **OK** : 温度は、警告しきい値を下回っています。
- **Warning** : 温度は警告しきい値とクリティカルなしきい値の間です。
- **Critical** : 温度は、クリティカルしきい値を上回っています。

センサー ステータスは、次のいずれかになります。

- **OK** : デバイスのすべてのセンサーが正常に機能しています。
- **Failure** : 1つ以上のセンサーに障害が発生しています。
- **NA** : センサーは取り付けられていません。

例 1 : 次に、デバイスまたはスタックの一般的な環境ステータスを表示する例を示します。

```
switchxxxxxxx> show environment all
```

内部電源装置がアクティブになっています。

```
fans OK
Sensor is OK
Temperature is OK
#EDITOR: The temperature status is OK if ALL the temperature sensors status in all the
stack members is OK, and if the temperature of all the stack members is below the lowest
threshold (this is calculated per stack member, if one or more of the stack members
temperature is above its specific threshold, the temperature status is FAILURE)
#EDITOR: Likewise the fan status will be OK - only if status of fans on ALL stack members
is OK (meaning no fan fail - or with redundant fan support - only 1 fan fail and redundant
fan active
```

例 2 : 次に、デバイスまたはスタックの電源の状態を表示する例を示します。

```
switchxxxxxxx> show environment power
```

内部電源装置がアクティブになっています。

例 3 : 次に、デバイスまたはスタックの一般的なファンステータスを表示する例を示します。

```
switchxxxxxxx> show environment fan
```

```
fans OK
#EDITOR: The fan status is OK if the fan sensors status in ALL the stack members is OK
```

例 4 : 次に、デバイスまたはスタックの温度ステータスを表示する例を示します。

```
switchxxxxxxx> show environment temperature status
TEMPERATURE level is Warning
```

例 5 : 次に、デバイスまたはスタックの一般的な環境ステータスの詳細を表示する例を示します。

```
switchxxxxxxx> show environment stack
```

```
Unit          fan Status
---          -
1             OK
2             Failure
3             Read fan fail
4             NA
#EDITOR: * fan Direction column will be printed only in SKUs which support this feature,
or in a stack when one of the units might support this feature.
Unit          Sensor      Temperature
              Status      Level
---          -
1             OK          warning
2             Failure     NA
3             NA          NA
4             OK          OK
```

show inventory

製品インベントリリストを表示するには、**show inventory** ユーザ EXEC モードコマンドを使用します。

構文

show inventory [*entity*]

パラメータ

entity : 表示するエンティティを指定します。スタック内の特定のユニット番号の番号 (1 ~ 4) またはインターフェイス (イーサネット) 名を指定できます。

コマンドモード

ユーザ EXEC モード

使用上のガイドライン

デバイス、スタック内のユニット、および接続されているエンティティ (SFP など) に関するインベントリ情報を取得して表示するには、**show inventory** コマンドを使用します。

エンティティを指定していない場合、コマンドはスタック内のすべてのユニットと接続されているすべてのエンティティの情報を表示します。

指定したエンティティがインターフェイス (イーサネット) 名で、SFP がポートに挿入されていない場合、NAME & DESCR フィールドのみが表示され、DESCR は「No SFP Inserted」になります。

例

例 1 : 次に、スタンドアロンシステム内のすべてのエンティティを表示する例を示します。

```
switchxxxxxx> show inventory
NAME: "1", DESCR: "48-Port Gigabit with 4-Port 10-Gigabit Managed Switch"
PID: xx350-4x-K9, VID: V01, SN: 123456789
```

例 2 : 次に、スタンドアロンシステム内の特定のエンティティを表示する例を示します。

```
switchxxxxxx> show inventory gigabitethernet1/0/49
NAME: "GigabitEthernet1/0/49", DESCR: "1000M base-LX Mini-GBIC SFP Transceiver"
PID: MGBLX1,VID: V01, SN: AGC1525UR7G
```

例 3 : 次に、VID 情報を SFP から読み取ることができない特定のエンティティの情報を表示します。

```
switchxxxxxx> show inventory gil/0/1
NAME: "gil/0/1", DESCR: "SFP-1000Base-LX"
PID: SFP-1000-LX ,VID: Information Unavailable , SN: 613bbgr8
```

例 4 : 次に、SFP がインターフェイスに挿入されていない特定のインターフェイスの情報を表示します。

```
switchxxxxxx> show inventory gi1/0/2  
NAME: "gi1/0/2", DESCR: "SFP not inserted"
```

例 5 : 次に、ユニットが2つのスタック構成システムのすべてのエンティティを表示する例を示します。

```
switchxxxxxx> show inventory  
NAME: "2", DESCR: "48-Port Gigabit with 4-Port 10-Gigabit Managed Switch"  
PID: xx350-4x-K9 , VID: V01, SN: 123456789  
NAME: "GigabitEthernet2/0/49", DESCR: "1000M base-LX Mini-GBIC SFP Transceiver"  
PID: MGBLX1, VID: V01, SN: AGC1525UR7G  
NAME: "4", DESCR: "48-Port Gigabit with 4-Port 10-Gigabit Managed Switch"  
PID: xx350-4x-K9 , VID: V01, SN: 123456789
```

例 6 : 次に、スタックのユニット 1 の情報を表示する例を示します。

```
switchxxxxxx> show inventory 1  
NAME: "1" DESCR: "48-Port Gigabit with 4-Port 10-Gigabit Managed Switch"  
PID: xx350-4x-K9 VID: V02 SN: 402
```

show reload

デバイスのステータスについて保留中のリロードがあるかどうかを表示するには、**show reload** 特権 EXEC モード コマンドを使用します。

構文

show reload

パラメータ

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

コマンドモード

特権 EXEC モード

使用上のガイドライン

このコマンドを使用して、保留中のソフトウェアのリロードを表示できます。保留中のリロードをキャンセルするには、このコマンドに **cancel** パラメータを指定します。

例

次の例では、リロードが 4 月 20 日土曜日 00:00 にスケジューリングされていることを表示しています。

```
switchxxxxxx> show reload  
Reload scheduled for 00:00:00 UTC Sat April 20 (in 3 hours and 12 minutes)
```

show sessions

オープンしている Telnet セッションを表示するには、**show sessions** ユーザ EXEC モード コマンドを使用します。

構文

show sessions

パラメータ

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルトの使用

なし

コマンドモード

ユーザ EXEC モード

使用上のガイドライン

show sessions コマンドは、ローカル デバイスへの現在の Telnet セッションによってオープンされたリモートホストへの Telnet セッションを表示します。ローカルデバイスへの他の Telnet セッションによってオープンされたリモートホストへの Telnet セッションは表示しません。

例

次に、オープンしている Telnet セッションを表示する例を示します。

switchxxxxxx> show sessions				
Connection	Host	Address	Port	Byte
-----	-----	-----	-----	-----
1	Remote router	172.16.1.1	23	89
2	172.16.1.2	172.16.1.2	23	8

次の表では、上記の重要なフィールドについて説明します。

フィールド	説明
Connection	接続番号。
Host	Telnet セッションを介してデバイスが接続されるリモートホスト。
Address	リモートホストの IP アドレス。
Port	Telnet TCP ポート番号。

フィールド	説明
Byte	この接続でユーザに表示されるバイトのうち未読のバイトの数。

system light

デバイスまたはスタック内の特定のユニットのネットワークポートのLEDを点灯させるには、**system light EXEC** モードコマンドを使用します。

構文

system light [*unit unit-id*] [*duration seconds*]

system light stop

パラメータ

- **unit-id** : ユニット番号を指定します。または、空白のままにすると、すべてのLEDが点灯します。
- **duration seconds** : LEDを点灯させる秒数。指定しない場合は、デフォルトで60秒に設定されます。(範囲: 5 - 300)
- **stop** : LEDの点灯を停止します。

コマンドモード

ユーザ EXEC モード

例

次に、システムLEDを6秒間点灯させる例を示します。

```
switchxxxxxxx> system light duration 6
```

システム リカバリ

クリティカルなしきい値に達した温度から自動的に回復するようにシステムを設定するには、**system recovery** グローバル コンフィギュレーション モード コマンドを使用します。

自動回復を無効に戻すには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

構文

system recovery

no system recovery

パラメータ

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト設定

システム回復は、デフォルトで有効になっています。

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション モード

例

```
switchxxxxxx(config)# no system recovery
```


翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。